

# 創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業

平成24年度予算額 : 3,290百万円  
(平成23年度予算額 : 3,512百万円)

資料2-5  
科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会  
研究開発プラットフォーム委員会(第5回)  
平成24年4月10日

## 事業目的

- ・ **新成長戦略(工程表)** で掲げられている **創薬・医療技術支援基盤** を確立するため、新創薬・医療技術の優れた研究成果を企業との共同研究や橋渡し研究等を通して、**我が国の経済成長を支える最適かつ強力な連携を進める体制を整備** し、創薬・医療技術研究を推進。
- ・ 実験系と理論系の融合領域研究を推進し、新たな創薬手法等を実現。

## 事業概要

創薬・医療技術に活用可能な最先端の計測・分析装置等を企業や大学等に対して広く共用するとともに、共同利用の促進に取り組む。また、広く研究者が最先端の創薬・医療技術支援基盤を共用する取り組みが継続的かつ計画的に実施し、研究者等の利便性及び研究の効率性の観点から、これらの基盤が一体として活用できる体制を整備し、**共用のために必要な運営経費等を支援**。また、実験系と理論系の融合領域研究を推進するための拠点を整備して、新たな研究手法である生命動態システム科学を推進し、今までにない創薬手法等を実現する。

## 創薬研究



数年ごとに見直し、事業の継続を判断

創薬等研究(基礎)

厚労省・経産省のプロジェクトにおいてもこれらの基盤の共用を促進し、利用をサポート

## 政策

【新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)】

○成長戦略実行計画(工程表)

V 科学・技術・情報通信立国戦略 3 基礎研究の強化とイノベーション創出の加速

・新技術開発や新分野開拓を創出する基盤の整備

(…中略… **創薬・医療技術支援基盤** …中略…)

## コミュニティの意見

【日本の展望(平成22年日本学術会議)】

- ・大型機器はいくつかの拠点で整備し、**共同利用できる体制が必要である**。すなわち、その使用にあたっては**全国の研究者が誰でも使えるようにすべきである**。ただし、現実でできたものは共用しにくい傾向があり、**運用体制が重要**となる。
- ・基礎・臨床医学の連携の中心は**新しい診断・治療法の開発を追求するトランスレーショナルリサーチ**にあり、その重点的な展開を図る必要がある。医学・薬学・工学の学際的な交流の促進は殊に重要である。